

単元名

「津田の歴史をたずねよう」 ～津和野街道・十王堂～

【関連のある SDGs の目標】



【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
◎津田の歴史を知ってもらうためには、どうすればよいだろうか？

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
●津田の町には、どんな歴史があるのだろうか？

【単元の目標】
地域の歴史に関心を持ち、郷土への愛着を持ちながら、よりよく課題を解決し、自分の考えをまとめ伝える資質や能力を育てる。

【連携諸機関・人物】
・山里くらぶ
・さいき文化センター

活動の概要

400年以上前の史跡である「津和野街道」が地域にあることを知り、パンフレットやインターネット等から情報収集を行った。その後、「山里くらぶ」に所属する地域の方々のお力を借りながら実際に津和野街道を散策し更なる情報収集や理解を深め、その成果をパンフレットやリーフレット、DVD映像等にまとめ、さいき文化センターを媒介として地域へ発信を行った。

★アピールポイント★

- ・活動の特色
- ・授業展開や学習形態、教材等の工夫
- ・地域人材、財産等の活用
- ・児童生徒の心を揺さぶる仕掛け
- ・他教科等との関連
- ・ICTの効果的な活用 等



＜津和野街道散策＞ ＜津和野街道PR動画上映(文化センター)＞ ＜津和野街道リーフレット等提示(文化センター)＞

- ・今年度は「実体験を伴う教育活動」と「地域への発信」を特に意識し教育活動を推進した。
- ・6月に実施した津和野街道散策では、山里くらぶの皆さんから学ぶことも多かった。児童の学習意欲も高まり、より主体的な教育活動につながった。
- ・さいき文化センターのロビーにて児童たちの作成したPR動画を上映していただいたり、リーフレットやパンフレットもロビーを中心に置いていただいたりするなど、地域への発信を行え、校外の方からも高い評価をいただいた。同センターで2月中旬に開催された「津和野街道百絵図展」にも児童の作品を出品する等、活動の幅が広がった。

児童生徒の姿（○）、児童生徒による振り返り（◇）

- それぞれ津和野街道の担当スポットを決めたことで一つについて深く学んだり、グループでまとめる際に責任感を持って活動できたりするよさがあった。
- 自分たちが作成したパンフレットやDVD映像、絵画等が学校外の多くの方の目に触れ、高い評価を受けたことは大きな自信につながっていたようだった。
- ◇歴史ある史跡が自分たちの住む地域に残っていることを知り、大切に残し続けたいという気持ちをもつことができたようだった。